

平成30年度 上伊那圏地域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第4回 就業支援 部会	参加者数	43人	会場	(株)ニッパツ・ハーモニー 駒ヶ根営業所
	日時	平成31年1月25日(金) 13:30 ~ 15:00				厚生棟2階 南北研修室
主テーマ	<p>1 あいさつ:「(株)ニッパツ・ハーモニー駒ヶ根営業所の紹介」</p> <p>2 発達障がいのある方の就業支援～事例検討ケースのその後の経過報告～</p> <p>3 障がい者雇用を行っている事業所担当者からの状況報告</p> <p>4 その他</p>					
主な意見など	<p>1 について((株)ニッパツ・ハーモニー駒ヶ根営業所 井口所長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本発条株式会社の特例子会社。全国6営業所を展開。県内には駒ヶ根、伊那営業所がある。 ・勤務時間は8:00～16:45。仕事内容は親会社の工場の構内清掃業務等。モットーは、やる気・根気・元気。 ・障がい者が企業で働くためには、(1)働く意欲・意識を持つ、(2)社会人としての自立、(3)働ける基礎体力、(4)指示されたことの実行力、(5)家庭の協力・支援が得られることが大切と考えている。 <p>2 について</p> <p>○第2回就業支援部会の事例検討で扱った事例のその後の経過について、報告があった。</p> <p>(1) 事例提供者より((株)暖 上伊那ブロック長 田平 氏より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例概要とその後の経過について (個人情報を含むため、詳細略) (2) 事例を通しての見立て(きらりあ 発達障がいサポートマネージャー 松田より) <ul style="list-style-type: none"> ・本人の特性を踏まえた対応ポイントは、次のとおり。 ア 家族の協力:就業安定には生活環境安定、家族の協力が必須。生活を支えるアセスメントも必要。 イ 本人の努力:自己理解、自分の特性との付き合い方を身につける。自己権利擁護の力の獲得。 ウ 職場環境の設定:本人の得意や強みをいかし、特性に合った職場環境の設定、切り出しが重要。 <p>3 について</p> <p>○障がい者の就業に直接関わる現場支援者の思いを3名の方から発表いただいた。概要は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ニッパツ・ハーモニー伊那営業所 指導員 中西泉氏(特例子会社指導員の立場から) ・(株)アルペン伊那福島店 店長代務 武田誠司氏(障がい者雇用者の立場から) (きらりあ北嶋代読) ・(株)ハッピークローバー サービス管理責任者 長谷川育子 氏(OJT推進員の立場から) (きらりあ小平代読) <p>注:OJT推進員…県の制度で、障がい者の一般就労に有効な職場実習の指導にあたる方。</p> <p>(1) 障がいのある方に特に意識(配慮)していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員として同じ立場で、公平に接すること。ある程度の距離感、個人の尊重を大切にしている(中西氏) ・仕事をしたくない、職場に来たくないと思わないように、また孤立しないように意識している(武田氏) ・OJT推進員への不安の除去。困りごとの聞き取りと解決策の助言はOJT活動日に必ず確認する(長谷川氏) <p>(2) 指示の出し方で工夫していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本は言葉で伝える。信頼関係が前提。丁寧語で特性に応じた言葉遣い。分かりやすい言葉を選ぶ。 叱るときは1呼吸置き言葉を選ぶ。ヒントを繰り返し提示し、徐々にその頻度を少なくし、考えさせる(中西氏) ・本人のしている仕事に意味があること、どうお店に貢献しているのかを伝え、本人のやる気を喚起(武田氏) ・一緒に確認し、ポイントはメモ書きで渡す。助言は控えめに。重要な部分の確認は入念に行う(長谷川氏) <p>(3) 障がい者支援で苦労していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ作業で仲間同士が争いになることがある。根本的理由を把握できるよう日々自己研鑽中(中西氏) ・特にありません。今後もコミュニケーションや助け合いの風土を大事にしていきたい(武田氏) ・障がいに対する一般の人たちの理解が薄いこと。受入先の障がい理解を深めること(長谷川氏) <p>(4) 障がい者支援で喜びを感じる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見が言え、指示を理解し、笑顔が見えた時等。実習生が「また来たい」と言ってくれた時(中西氏) ・会社として、障がいのある方の働く環境を提供できていること(武田氏) ・「就職が決まった」という報告。温かく受け入れられ、甘えず目標を持って実習に打ち込む姿(長谷川氏) <p>(5) 他事業所で、ご自分と同じ立場で仕事をしている皆さんへのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者とのふれあいを楽しみ、指導に自信を持ち、ストレスを感じないように支援してほしい(中西氏) ・本人の気持ちや思いの理解がお互いの働きやすさにつながる。得意な部分を活かしてほしい(武田氏) ・根拠のある関わりを持ち、エンパワメントを意識する。情報共有や連携を密に支援してほしい(長谷川氏) <p>4 について(きらりあ 松田より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019ながの発達障害啓発週間「結」プロジェクト チャリティセミナーのご案内 H31.2.9(土) 10:30～16:30 信州大学医学部付属病院外来棟4階 ぜひご参加ください。 					
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討ケースのその後の経過報告をきき、発達障がい者の就業支援のあり方を皆で考えることができた。 ・企業の現場で障がい者支援をしている担当者の思いから、企業における就業支援をともに学ぶ一助となった。 					
次回	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回就業支援部会は、H31.2.27(水) 13:30～15:30 於:伊那市福祉まちづくりセンターにて行います。 大勢の皆様のご参加、お待ちしております。 					